

県民意見の聴取等の実施状況について

1 パブリックコメント

(1) 意見募集期間 平成 23 年 6 月 21 日～7 月 31 日

(2) 提案件数 378 通 663 件（復興基本計画案への反映 約 5 割）

【項目別内訳と反映状況（速報版）】

（平成 23 年 8 月 1 日現在）

区分	A (全部反映)	B (一部反映)	C (趣旨同一)	D (参考)	E (対応困難)	F (その他)	計	構成比
目指す姿と 3 つの原則			8	9			17	2.6%
まちづくりのグランドデザイン	1	9	19	55	9		93	14.0%
具体的取り組み	18	25	181	177	9	20	430	64.9%
(再掲)	安全	1	6	31	39	9	95	14.3%
	暮らし	11	14	100	89	3	217	32.7%
	なりわい	6	3	50	44	8	111	16.7%
	その他		2		5		7	1.1%
三陸創造プロジェクト	2	3	1	6			12	1.8%
全般、計画の進め方等	8	12	39	47	1	4	111	16.7%
計	29	49	248	294	19	24	663	100.0%
構成比	4.4%	7.4%	37.4%	44.3%	2.9%	3.6%	100.0%	

49.2%

2 地域説明会

地域住民に対して周知を図るとともに、意見等を今後の計画策定に反映させるため、沿岸を中心に県内 14 箇所地域説明会を実施

【実施状況】

日時	会場	出席者数	質問意見数
7月13日(水) 10:30~12:00	野田村総合センター	215	15
7月13日(水) 14:00~15:30	普代村役場	42	8
7月14日(木) 10:30~12:00	洋野町民文化会館	28	4
7月14日(木) 14:00~15:30	久慈地区合同庁舎	20	11
7月15日(金) 10:30~12:00	宮古地区合同庁舎	70	10
7月15日(金) 10:30~12:00	二戸地区合同庁舎	15	6
7月15日(金) 15:00~16:30	釜石地区合同庁舎	49	16
7月15日(金) 18:00~19:30	大船渡地区合同庁舎	48	7
7月16日(土) 10:00~11:30	陸前高田市立第1中学校	100	15
7月19日(火) 10:30~12:00	山田町中央コミュニティセンター	50	11
7月19日(火) 14:00~15:30	奥州地区合同庁舎分庁舎	15	2
7月19日(火) 14:00~15:30	大槌中央公民館	90	18
7月20日(水) 10:30~12:00	一関地区合同庁舎	17	0
7月20日(水) 15:00~16:30	岩手県民会館	22	3
合計		781	126

3 岩手県議会災害対策特別委員会からの提言

平成 23 年 8 月 1 日に岩手県議会災害対策特別委員会から知事に対し「東日本大震災津波からの復旧・復興に向けた政策提言」が行われた。(平成 23 年 7 月 29 日岩手県議会災害対策特別委員会決定)

【提言の基本的視点】

- 1 未来に向けた創造的な復興モデルに
- 2 安全・安心なまちづくりの再構築
- 3 なにより生活再建～暮らしと仕事が再生の出発点
- 4 再生可能エネルギーの先駆的導入
- 5 県民一人ひとりが復興の主体～全ての英知を結集

4 女性の意見

県内の様々な分野で御活躍されている女性の方々との意見交換会を開催

(1) 開催日 平成 23 年 7 月 21 日

(2) 参加者 (敬称略)

氏 名	所 属 等
伊 東 碩 子	社団法人岩手県栄養士会 会長 岩手県東日本大震災津波復興委員会 委員
及 川 公 子	特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会 会長 岩手県東日本大震災津波復興委員会 委員
大 沢 伸 子	岩手県商工会女性部連合会 副会長
兼 田 昭 子	社団法人岩手県看護協会 会長
熊 谷 富 民 子	J A 岩手県女性組織協議会 会長
佐 賀 敏 子	山田町立山田南小学校 校長
菅 原 悦 子	国立大学法人岩手大学 副学長
長 野 え り 子	社団法人岩手県歯科医師会 理事
平 賀 圭 子	特定非営利活動法人参画プランニング・いわて理事長
村 松 文 代	株式会社アイビーシー岩手放送報道局アナウンス部・報道部専任部長
盛 合 敏 子	岩手県漁協女性部連絡協議会 会長
両 川 い ず み	特定非営利活動法人いわて子育てネット 副理事長

(3) 参加者からの提言

- ① 復興に係る政策方針決定やそれらの実施のための組織・機関に女性を 30%以上参画させること。
- ② 復興のあらゆる分野に男女共同参画をはじめとするダイバーシティ(人の多様性)の視点を盛り込むこと。
- ③ 復興において女性が不利な状況に取り残されることのないよう具体的かつ実効的な施策実施のために十分な予算措置を講じること。

5 若者の意見

いわて高等教育コンソーシアム（岩手県内の国公私立4年制大学で構成）参加校に在籍する県学生及び北里大学の学生との意見交換を実施

【実施状況】

開催日	開催場所	参加学生数
平成23年7月20日	岩手大学	8人
平成23年7月22日	岩手県立大学	11人
平成23年7月26日	北里大学	39人
平成23年7月27日	富士大学	10人
平成23年8月5日（予定）	盛岡大学	

【参加者からの主な意見】

- ① 被災地におけるボランティアの役割を明確にする必要がある。
- ② 傾聴や心のケアの取組が重要
- ③ 地域コミュニティを大切にしたい復興を進めてほしい。
- ④ 今後の災害に備え、速やかに被災地にボランティアを投入できるような仕組みが必要。
- ⑤ 三陸の水産物を活用した観光客誘致等を進めてほしい。

6 東日本大震災津波復興委員会専門委員等との意見交換

（別冊「岩手県東日本大震災津波復興基本計画（案） 参考資料」65ページ以降参照）